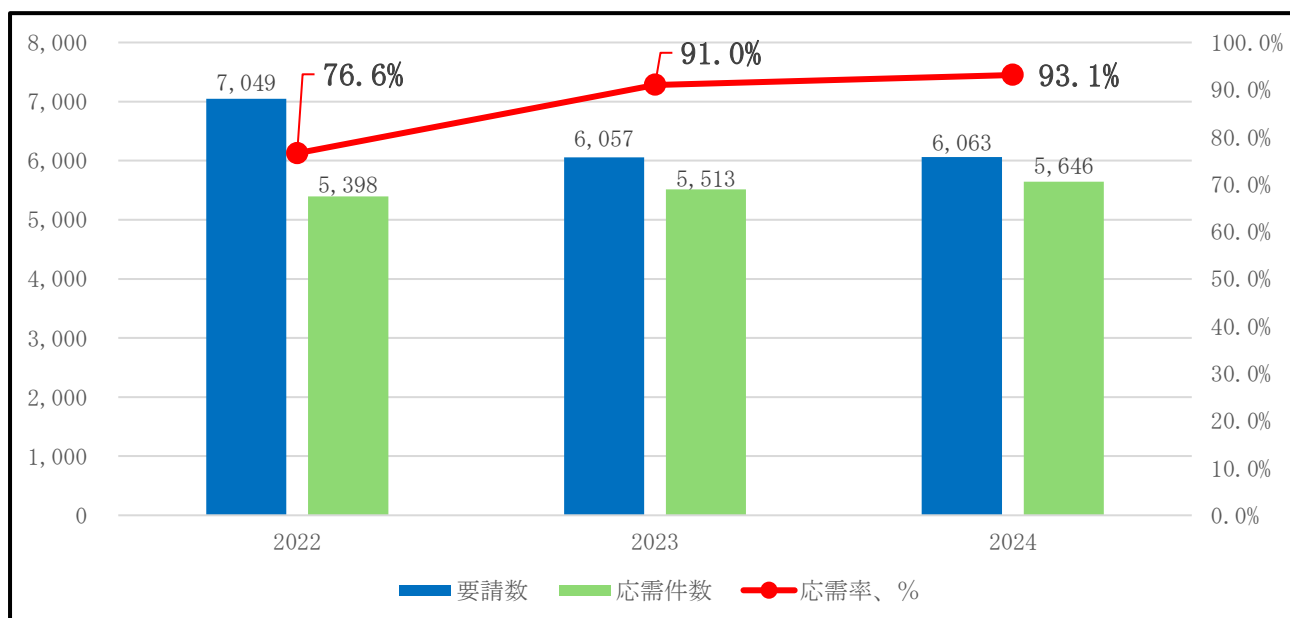


□救急車（心臓・脳卒中ホットライン含む）の応需率

救急車（心臓・脳卒中ホットライン含む）の応需率



➤ 指標の説明

救急車の受診要請数及び外部の医療機関や救急隊から専用回線（心臓・脳卒中ホットライン）を通じて専門医への受診要請数とその応需率を示しています。救急車（心臓・脳卒中ホットライン含む）の応需率向上は救急部門だけでの努力で改善できる指標ではなく、入院を受け入れる病棟看護師、各診療科スタッフの協力など様々な要素が関係するため、病院全体で改善に向けた取組が必要な指標です。

➤ 定義

【救急車（心臓・脳卒中ホットライン含む）の応需率】

分子：救急車で来院した患者数

分母：救急車受け入れ要請件数

➤ 評価

救急車（心臓・脳卒中ホットラインを含む）要請数は漸増傾向にありましたが、2023年度は前年度に比べて約1,000件減少し6,057件、2024年度はほぼ同数の6,063件でした。2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、要請数が一時的に増加し、応需数が減少した時期が見られました。応需率は2023年度の91.0%から2024年度には93.7%へと上昇しており、限られた医療資源の中でも積極的な受入体制を維持しています。当院は救急指定病院（2次・3次）として救命救急センターを開設し、横浜市内のみならず他地域からの重症患者も積極的に受け入れ、24時間体制で迅速かつ的確な救急医療を提供しています。